

# 巻頭特集 プロ相談員が教える「老後の住まい」のキホン

## 目次

### 巻頭特集

これで分かった！  
認知症と介護施設選び …… 4

### 1都3県 使える！ 見つかる！

#### 1773件とつながるリスト

掲載情報の見方 …… 9

- 東京都23区 …… 10
- 東京都市部 …… 22
- 神奈川県川崎市 …… 30
- 神奈川県横浜市 …… 34
- 神奈川県相模原市 …… 39
- 神奈川県市部 …… 40
- 千葉県千葉市 …… 46
- 千葉県市部 …… 48
- 埼玉県さいたま市 …… 53
- 埼玉県市部 …… 56

プライバシーポリシー …… 63

入居相談FAX送信票 …… 64

### 連載

介護のチカラ [第3回] …… 65

介護施設の種類と特徴 …… 66

相談員のひとりごと …… 67

ご相談からご入居までの流れ …… 68

### チェック！

介護にいくらかけられる？

入居予算試算表 …… 70

## これで分かった！ 認知症と介護施設選び

私たちが直面する超高齢化社会において、介護の問題を考えるとときに「認知症」は避けて通ることができません。今号では、認知症ケアに強い介護施設の選び方や、考え方のポイントを解説します！

### PROFILE



**樋口 国陽**  
ひぐち くにきよ  
(株)シニアサポート代表

長年にわたって数多くの相談者に最適な介護施設を紹介してきた、介護施設選びのエキスパート。自治体や企業向けの講演会も数多く行う。

## 認知症を正しく理解していますか？

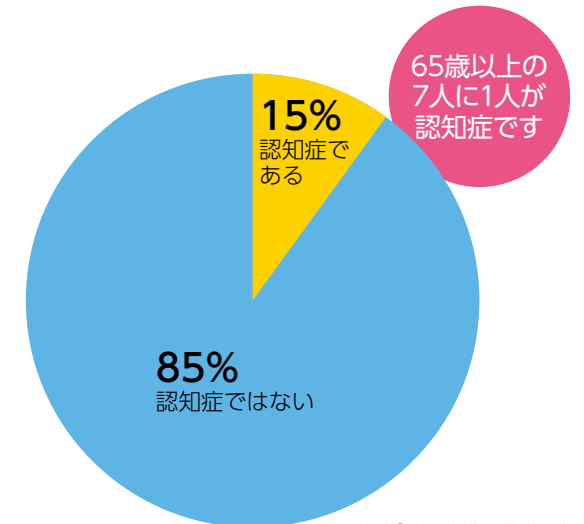
今号の巻頭特集のテーマは認知症です。ご存知の通り、認知症とはさまざまな原因から脳細胞が死んでしまう「変性疾患」と呼ばれる病気のことで、進行すると、生活に支障をきたす症状が表れることが知られています。一般的に、加齢によって若い時よりも脳の働き機能が衰えるのは、ある程度仕方のないことです。誰でも、歳をとれば物忘れは増えます。ただし、認知症の場合は「本人に物忘れの自覚がない」「体験したことを覚えていない」など、明らかに正常とはいえない状態に陥ります。

平成27年の厚生労働省の発表では、国内の認知症患者数は462万人（平成24年時点）で、65歳以上の高齢者の7人に1人と推計されます。さらに、認知症の前段階とされる「軽度認知障害」の約400万人を合わせると、高齢者の4人に1人が認知症もしくは、その予備軍であると考えられます。当然ながら、超高齢化社会がこのまま進み、人口における高齢者の割合が高くなるにつれて、認知症の患者数もさらに増加すると推測できます。

比較的に軽度の認知症であれば、家族や周囲の人のサポートを受けて今までの生活を続けることも可能です。しかし、症状が進行していたり、十分な見

### 65歳以上の認知症患者の推定数

(平成24年度)



出典：内閣府「平成29年度版高齢社会白書」

守りができない状況では、介護付有料老人ホームなどへの入居を考えざるを得ないでしょう。そこで今回は、認知症での介護施設探しについて、詳しく解説しようと思います。認知症を抱えるご本人さまが安全に、安心して余生を過ごすことができるように、私どもの相談室でご案内している、施設探しのポイントと基本的な考え方をご紹介します。ぜひ参考にしてみてください。

### 認知症ってどんな病気？

症状は人によって大きく異なります。おもな症状は以下の通りです。

#### 記憶障害

新しいことを記憶できない上、直前の出来事を思い出せない。また、過去の記憶を忘れてしまう。

#### 見当識障害

時間や方向の感覚が薄れ、日付や時刻が分からなかったり、自分のいる場所が分からなくなる。

#### 理解・判断力の障害

思考速度が低下し、情報処理ができなくなる。自動改札や銀行ATM、家電の操作がうまくできない。

#### 実行機能障害

食材を買って料理を作るなど、日常生活において、計画を立てて実行することができなくなる。

#### 不安・抑うつ

自身の判断力への自信を失い、すべての物事が面倒になる。意欲や気力が減退してうつ状態に。

#### 幻覚・妄想

事実でないことを事実だと思い込んだり、「ものを盗られた」などの妄想を周囲に主張したりする。

#### 徘徊

見当識障害が進むと、目的地に辿り着けなかったり、行方が分からなくなったりする。

#### そのほかに……

- 思い通りにいかないことに癇癢を起こしたり、暴力を振るったりする。
- 失禁してしまうなど、排泄に失敗する。放尿・放便するなどの不潔行為。

# 認知症ケアに強い介護施設を探すには？

最近では、多くの介護付有料老人ホームが認知症の受け入れに対応しています。パンフレットなどに認知症の受け入れを明記しているホームであれば、暴力行為などよほどの重い症状でない限り、問題なく入居できるでしょう。長年、ご相談者さまの介護施設探しをお手伝いしてきた私の経験から言うと、認知症ケアに力を入れるホームには、いくつかの共通点があるように思われます。皆さんの介護施設選びのお役に立つように、以下に解説していきます。

認知症が他の病気と違うのは、自分が何を望んでいるのか、どんなケアが必要なのかを患者本人が言葉にして伝えることができないということです。私は常々、「認知症ケアでいちばん大切なのは『気づき』である」と考えています。正しい判断力を持ってないご本人さまに代わって、どんなお世話が必要か、どんなことを望んでおられるのか、いち早く気づくところこそ重要だと思います。

それぞれのご入居者さまを、より細やかにお世話するためには、人員体制の手厚さが大きな判断材料になります。例えば、人員配置が3：1の施設に比べて、2：1の施設では、ご入居者様お一人おひとりに対するケアがより手厚くなると考えることができます。また、施設によっては身体状況や認知症の有無に応じて10名程度のユニットに分けたり、ケアゾー



## 認知症の人に施設入居を勧める際、注意すべきポイントは？

認知症状が表れたことで、一人暮らしや家族による介護が困難になり施設入居を検討するケースは非常に多いです。そうした場合に、認知症であるご本人さまへどう説明して納得してもらうかは、とても難しい問題です。前提として、多くの場合において、ご自身は施設への入居が必要だとは思っていません。自分はこれまで通りに自力で生活することができると考えているため、そうすんなり勧めを受け入れることはないでしょう。無理強いをすると、激しく抵抗されたり、話がこじれたり、不測の事態を招きかねません。そんな状況を避けるために、私の経験をもとにいくつかの注意点を

紹介しましょう。

あまりお勧めできないのが、「旅行に行く」「家族みんなで引っ越す」などと事実を隠して連れ出すことです。状況にもよりますが、ご本人さまの意思に反して無理やり連れて行くような方法は避けるべきです。まずは、なぜ施設入居が必要なのかをていねいに説明して、不承不承であろうとも納得してもらうことを目指します。大切なのは、施設入居の理由をご本人さまのせいにするのではなく、「今の状況では十分な面倒をみてあげられない」「このままでは家族として心配だから」というように、ご本人さまの安らかな暮らしを考えて、それが最善であると説明することです。その際、多くの高齢者があまり良いイメージを抱かない「老人ホーム」の呼称は、あえて使わないほうが無難です。

ご本人さまにしてみれば、最初はどれほど反発

ンと呼ばれる範囲を区切ったりすることで、認知症に特化した介護サービスを提供する施設もあります。こうした手法は一般的に「ユニットケア」と呼ばれています。

ご入居者さまの健康状態や認知症状に応じた個別リハビリやレクリエーションに対応しているかどうかも一つの目安になるでしょう。さらに、認知症介護に関する資格を持つ介護スタッフを多く抱えることを積極的にPRする施設では、運営会社自体が認知症ケアに力を注いでいるのだと推察できます。

これはある程度仕方ないことですが、一般的に、介護サービスの手厚さは、利用料金の価格帯と比例する傾向があります。私どもの相談室では、同じ金額の2施設で迷われた場合に、開設した年数がより古い施設をお勧めする場合があります。これは、古くからある施設では、その分長く働く職員も多く、総合的な経験値がより高い傾向が見受けられるためです。

していたとしても、自分のためを思って周囲が勧めてくれているのであれば、いずれは「まあ、仕方ないか…」と態度を軟化させることがほとんどです。一旦、ご本人さまの言質をとれたら、「この前、ああ言ってくれたから、ぴったりの施設を探したよ」というように少しずつ具体性を持たせて話を進めるのがよいでしょう。

今では、多くの施設が入居金が0円のプランを用意しています。これらのプランでは、途中で退去した場合に損をする心配がないので、「元気になったら、元の生活に戻れる」と説明して納得してもらうのも一つの手でしょう。

また、信頼できるかかりつけ医から施設入居を勧めってもらう方法も有効です。家族の説得ではなく、医師からのアドバイスであれば、ご本人さまも納得しやすいのではないのでしょうか。

## 専門家が教える 認知症ケアが手厚い 施設の特徴



(株)シニアサポート代表  
樋口 国陽

### ■ユニットケアを実施している

認知症患者を10名程度に分けて介護するユニットケアは、きめ細かい介護が受けられるのが利点。

### ■認知症ケアの有資格者が多い

「認知症ケア専門士」「認知症ライフパートナー」などの資格を持つ介護スタッフを多く有する施設も。

### ■個別ケアに対応している

入居者一人ひとりに合わせた個別リハビリやレクリエーションに対応してくれる施設もある。

### ■開設から年数が経過している

開設から間もない施設よりも、年数の経った施設の方がスタッフの経験値が蓄積されている傾向がある。

## ご本人に伝える場合の注意点

### ①嘘をつかない

「旅行に行く」などと本人を騙して連れ出すことはしない。

### ②ご本人のせいにならない

本人に責任があるのではなく、あくまでも事情によって仕方なく入居が必要であると強調する。

### ③「老人ホーム」という言葉を使わない

人によっては「老人ホーム」と聞くと、かつての養老院を連想して「見捨てられる」と誤解させる場合もある。

### ④本人の「仕方ない」という気持ちを引き出す

現状では本人が安心して暮らしていけないことを説明し、たとえ消極的であっても、理解を促し言質をとる。

### ⑤「元気になったら戻れる」ことを説明する

入居金ゼロの施設であれば、お金を損せず退去することもできる。家族にとっても受け入れやすいのでは。

# 専門家のアドバイスで道が開けることもあります

冒頭で紹介した厚労省の発表では、団塊の世代が75歳以上を迎える2025年には、認知症の患者数は700万人前後に達し、高齢者のおよそ5人に1人が認知症であると予測されています。当然、誰もが自分や、家族が認知症になる可能性が十分に考えられます。例えば認知症になっても、穏やかに暮らせる環境を用意できるのなら、少しは安心して老後を迎えられるかもしれません。

認知症の患者と向き合う家族や介護者である皆さんに、ぜひ申し上げたいのは、専門家にアドバイスをもらうことをためらわないでほしいということです。「認知症はどうせ治らない病気だから医療機関を受診しても仕方ない」「認知症の高齢者はグループホームにしか入居できない」といった、誤った先入観によって、症状を悪化させたり、ご本人や家族にとって悪影響を及ぼしたりする場合もあり得ます。さ

らに、おかしい言動を示しはじめた親や配偶者を「恥ずかしい」と感じて、他人に打ち明けられず身内だけで抱え込もうとするのも間違いです。もしも、親しい近親者が認知症になったら、ショックを受けて戸惑い、混乱するのは仕方のないことです。どうか無理をせず、焦らずに状況を判断して、ときには行政や福祉の専門家に相談する姿勢が大切でしょう。認知症は病気なので、必要な医療・介護サービスを躊躇せずに利用してください。

もしも介護施設探しで迷われたら、ぜひ「ホームあしすと入居相談室」へご連絡ください。私どもは、これまでの実績の中で、認知症に関するご相談も多くお受けし、ご相談者さまにご満足いただけるご提案を差し上げてまいりました。お一人おひとりの状況やご希望をふまえて、最適な住まい探しのお手伝いにお役立てください。

## もしも迷ったときには… ホームあしすと 入居相談室

「ホームあしすと入居相談室」では、老後の住まい探しのご相談をお受けしております。介護業界を知り尽くしたプロの視点から、お一人おひとりに最適な施設を探し、親身になってご提案いたします。施設の見学、ご契約、アフターフォローまで、万全の体制であらゆるご相談にお応えいたします。

まずはお気軽にお電話ください


 **0120-428-165**

 **0422-22-1501**

営業時間 **10:00~19:00** ●定休日/日曜・祝日\*

\*メッセージを残していただければ折り返しご連絡さしあげます。



ホームあしすと 

<http://senior-support.co.jp>



●twitter & facebookも更新中!

●Webにて弊社バックナンバーを公開中!